

今回の内容 ○ 長崎明誠高校の紹介

全国には特徴がある高校があり、そこには夢や希望をもち学校生活を送っている生徒がいます。本日の学年集会では、いくつかの高校を紹介しました。

突然ですが「高校牛児」とは、どのような意味だと思うでしょうか？

普通は野球の「高校球児」です。「牛児」とは農業高校の生徒が「和牛甲子園」を目指して日々牛の世話をすることを表します。毎日休みなく大切に飼育し、愛情を込めて育てた牛の肉質を競うという大会になります。生徒たちは、生命を大切にすること、そして、命をいただくことを実際に経験することになります。

「高野山高校」は、世界遺産「高野山」にあります。ここには「宗教学科」があり、週8時間は仏教の勉強、そして、お経の基本となる「声の出し方」などを学びます。ある男子生徒は、昼は高校で学び、夜は「宿坊」で生活しています。宿坊とは、お寺が旅館業を行うことで、男子生徒は毎日食事の世話、布団の出し入れ、予約の電話対応を行います。生徒は「中学校時代は逃げていた、そこで高校では頑張りたい」と言っていることが印象的でした。

生徒たちは義務教育を終え、保護者と本人が決めた高校にすすみます。「普通科」「専門学科」「総合学科」のいずれかになりますが、中学校とは学習内容が異なり、自分のやりたいことを学ぶことができる環境になります。そのため、「希望や願い」をかたちにして自分にとっての「名門校」を模索してほしいと思います。

そこで、本号から琴海中学校の生徒が多く進学した高校を紹介します。第1回は長崎明誠高校、過去3ヶ年で60名進学しています。

1) 特色ある授業

郷土芸能(和太鼓)、邦楽(琴)、陶芸、手話・点字、中国語、ハンゲル、数学基礎、英語基礎、郷土長崎、危険物、理科実験、環境科学、音声表現、音楽総合、医療介護基礎、プログラミング

2) キャリア教育

「産業社会と人間」(1年次)

○まとめる(書く)力をつける ○自己の将来を考える ○自分の言葉で表現する力をつける

「キャリアプランニング」(2年次)

○インターンシップ(企業体験)を通じて望ましい勤労観を身につける
○修学旅行時に大学・企業訪問等を行う

「課題研究」(3年次)

○自ら設定した課題について調査研究を行う ○考察した結果を発表する力を身につける

3) 「自分だけの時間割」

開講科目は100以上。大学受験から就職まで幅広く対応できる科目の中から授業を選択する。

①卒業に必要な科目を選択 ②国語・数学・英語を必ず入れる ③進路に必要な科目を選択

4) 部活動

体育部：陸上競技(男女)、柔道(女)、サッカー(男)、バレーボール(女)、バスケットボール(男女)、卓球(男女)、バドミントン(男女)、ソフトテニス(男女)、硬式野球(男)、弓道(男女)、ボート(男女)

文化部：放送、美術、新聞、吹奏楽、合唱、茶道、英語研究、情報処理